

平成30年外国人技能実習制度に係る受入状況調査（概要版）

令和元年(2019年)5月24日
経済部労働政策局人材育成課

【調査の概要】

1) 趣旨

本道における外国人技能実習生の受入状況を把握することを目的として、平成18年から、監理団体等を対象とした「外国人技能実習制度に係る受入状況調査」を実施しており、この度、平成30年の受入状況を調査結果報告書として取りまとめたもの。

2) 調査対象

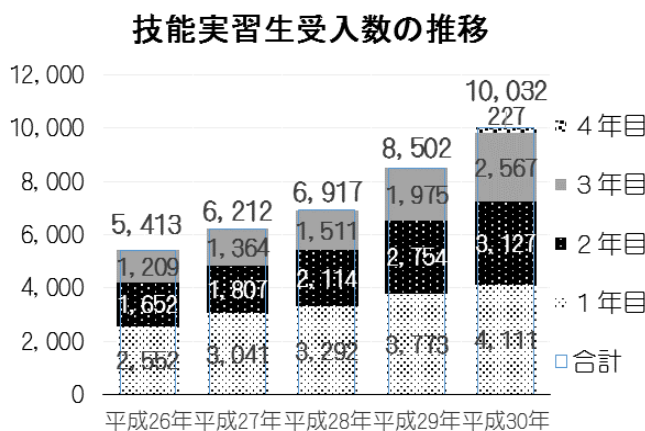
協同組合、農協、商工会・商工会議所など団体監理型の監理団体として道内において技能実習生の受入を行っている道内外の団体、及び企業単独型で道内において技能実習生の受入を行っている企業。

調査票発送団体数：269、回答数：244、うち受入実績のある団体：128

（内訳） 協同組合：94、農協：17、商工会・商工会議所：2、
公益社団・財団法人等：10、企業（企業単独型）：5

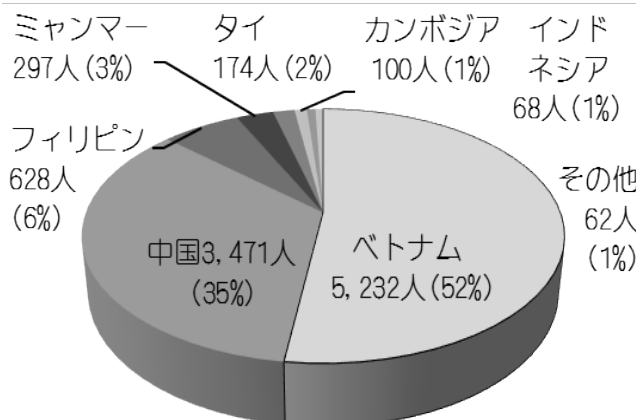
【調査結果の概要】

■技能実習生受入数



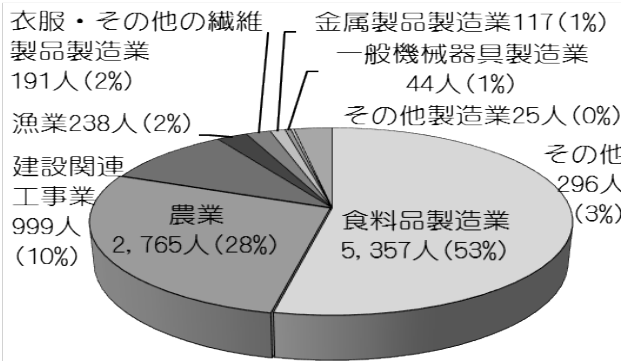
- 平成30年受入総数 10,032人
[対前年 118%、1,530人増]
- 1年目 4,111人
[対前年 109%、338人増]
- 2年目 3,127人
[対前年 114%、373人増]
- 3年目 2,567人
[対前年 130%、592人増]
- 4年目 227人

■国籍別受入数



- ベトナム 5,232人
[対前年 135%、1,349人増]
- 中国 3,471人
[対前年 97%、92人減]
- フィリピン 628人
[対前年 142%、186人増]
- その他 701人
[対前年 114%、87人増]

■業種別受入数



- ・ 食料品製造 5,357人
[対前年 110%、509人増]
- ・ 農業 2,765人
[対前年 113%、324人増]
- ・ 建設関連 999人
[対前年 141%、288人増]
- ・ 漁業 238人
[対前年 149%、78人増]

■地域別受入数（振興局管内別、上位5地域）

石狩	1,734人	[対前年 148%、566人増]
オホーツク	1,416人	[対前年 101%、13人増]
渡島	1,274人	[対前年 128%、280人増]
上川	784人	[対前年 122%、143人増]
釧路	756人	[対前年 111%、76人増]

■技能実習生の受入に関する課題

- 北海道は面積が広いので、外国人技能実習法に対応するための監査の負担が大きく、スタッフの採用・育成が必要。
- 申請書類の量が多く、監理団体や実習実施者の事務負担が大きい。申請書類の簡素化、電子化を希望する。
- 技能実習生の日本語能力レベルの向上（市町村にボランティアの日本語教室が少ない）
- 振興局や自治体との連携（宿舍の確保等）
- 技能実習生の失踪防止や実習生同士の生活トラブルへの対応。

■技能実習生と地域社会との共生に向けた取組

- 地域や社内のイベント（食事会、成人式、旧正月祝い、盆踊り、スキー、温泉旅行、実習生による母国料理会等）の情報提供、企画。
- 地域のボランティア活動（ゴミ拾いや冬の除雪作業、マラソン大会のスタッフ）
- 定期的に実習生配属地域の管轄警察署や市町村との情報交換を実施（実習生の人数や在留期間等）。
- 転入手続の際、実習実施者が市町村の担当者へ実習生とともに挨拶。
- 市役所等で日本語ボランティア情報を収集し、実習実施機関や技能実習生に案内。
- 実習実施機関が市に働きかけ、日本語学習会を開催。